

栃木放送平成 27 年度第 6 回 10 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 27 年 10 月 8 日（木）午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 7 名

欠席委員 2 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	太 田 照 男
	委 員	岩 村 由 紀 乃
	委 員	高 橋 幸 裕
	委 員	小 林 一 巳
	委 員	鈴 木 俊 男
	委 員	関 根 房 三
局側出席者氏名	代表取締役社長	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也

4 議 題

(1) 「災害報道」について

(2) その他

5 議事内容

(1) 「災害報道」について

試聴番組：平成 27 年 9 月 9 日（水）から 10 日（木）にかけての
関東・東北豪雨災害報道を予め試聴

議題説明：報道制作局 高瀬が番組概要について説明。
次に審議に入る。

各委員からは、

○繰り返しが多かったように思う。もっと情報に変化があったほう

がよい。情報の優先順位をもっと整理したほうがいい。近所の状況の呼びかけをしていたが、見に行くと危険なのでしないほうがいい。避難場所の情報がある市とない市があった。市や町ごとに情報をまとめるともっとわかりやすいのではないか。

○アナウンスに緊迫感がなかった。状況に応じて変えるのも必要ではないか。

○淡々と伝えていたのがいい。避難勧告と避難指示の違いを説明するとよかったと思う。河川の左岸という言葉も分かりづらいのではないか。

○夜、どういう人がどういう形で聴いているのかわからないので、情報は繰り返しでもいいと思う。最新の情報なのかどうかわかるのもっといい。避難している人への注意事項などを伝えてやるといいと思う。

○ラジオの特性を生かした情報提供と情報取得の体制を作れるといい。

○テレビとラジオでは情報量が違うので、ラジオはどのような情報を流すのかを考えたほうがいい。

○これだけの体制でよくこれだけの放送ができたなと感動した。放送するという意気込みが感じられた。俯瞰した情報をもっと盛り込んでやるとさらにいい。

○情報の優先順位を決めて放送したほうがよい。

○地域の生活情報などフォロー情報がほしい。

などの意見が出された。

当社としてはこれらの意見を参考に今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

平成 27 年度第 7 回 11 月期の審議会を 11 月 5 日（木）に開催することを決めて閉会した。

以上